



JASDAQ

平成24年5月8日

各位

シライ電子工業株式会社  
代表取締役社長 小島 甚昭  
(コード番号: 6658)  
問い合わせ先: 取締役 経理・財務担当  
小谷 峰 藏  
電話番号: 075-861-8102

### 営業外損失の発生及び平成24年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成24年3月期連結累計期間（平成23年4月1日～平成24年3月31日）におきまして、営業外損失が発生することになりましたのでお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成23年5月13日に公表いたしました平成24年3月期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の連結業績予想及び個別業績予想を下記のとおり修正することとなりましたのでお知らせいたします。

#### 記

##### 1. 営業外損失の発生

当社はシンジケートローンによる借入れを実行し、海外子会社に対して円建てで設備投資資金を貸付けております。このため、平成24年3月期第3四半期連結累計期間では2億49百万円の為替差損を計上しておりました。しかしながら、今年に入り為替相場が円安基調となったことから通期におきましては1億72百万円の為替差損となり、為替差損の幅が縮小する見込みとなりました。

##### 2. 業績予想の修正

###### ① 平成24年3月期連結業績予想の修正

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位: 百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	26,000	400	150	90	6.44
今回予想(B)	23,555	503	△40	△125	△8.94
増減額(B-A)	△2,445	103	△190	△215	—
増減率(%)	△9.4	25.8	—	—	—
(ご参考) 前期実績 平成23年3月期	23,282	97	△706	△756	△54.11

② 平成 24 年 3 月期個別業績予想の修正

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(単位：百万円・%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	13,500	50	100	80	5.72
今回予想(B)	12,435	388	463	440	31.49
増減額(B-A)	△1,065	338	363	360	—
増減率(%)	△7.9	676.0	363.0	450.0	—
(ご参考) 前期実績 平成 23 年 3 月期	13,536	523	639	619	44.35

2. 修正の理由

(連結)

売上高につきましては、プリント配線板外観検査機事業は堅調に推移いたしました。プリント配線板事業におきましては、東日本大震災からの復興に予想以上に時間を要していることや想定もしなかったタイの洪水被害が発生したことによりカーエレクトロニクス関連を中心に厳しい受注環境となったため、平成 23 年 5 月 13 日に公表(以下「前回公表」という)いたしました業績予想に比べ 24 億 45 百万円減収の 235 億 55 百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、売上高は減収となりましたが、中国自社工場の本格稼働により内製化が進み仕入高が減少したことや国内外での製造力強化活動の取組み効果等により原価率が改善したことから、前回公表いたしました業績予想に比べ 1 億 3 百万円増益の 5 億 3 百万円の営業利益となる見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益は増益となったものの、依然として為替差損が発生したことや支払利息の増加、また持分法適用会社の損益が悪化したこと等から、前回公表いたしました業績予想に比べ 1 億 90 百万円減益の 40 百万円の経常損失となる見込みであります。

当期純利益につきましては、経常損失の発生や株式市場の低迷による投資有価証券評価損の発生、税金費用の増加等により、前回公表いたしました業績予想に比べ 2 億 15 百万円減益の 1 億 25 百万円の当期純損失となる見込みであります。

(個別)

売上高につきましては、上述のとおり、東日本大震災やタイで発生した洪水被害の影響によりカーエレクトロニクス関連を中心にその他電子応用関連でも受注が減少したことにより、前回公表いたしました業績予想に比べ 10 億 65 百万円減収の 124 億 35 百万円となる見込みであります。

営業利益につきましては、売上高は減収となりましたが、外注加工費の削減や製造力強化活動の取組み効果等により原価率が改善したことや、販売費および一般管理費についても圧縮できたことから、前回公表いたしました業績予想に比べ 3 億 38 百万円増益の 3 億 88 百万円の営業利益となる見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益の増益や支払利息の減少等により、前回公表いたしました業績予想に比べ 3 億 63 百万円増益の 4 億 63 百万円の経常利益となる見込みであります。

当期純利益につきましては、株式市場の低迷により投資有価証券評価損の発生はあったものの、営業利益及び経常利益の増益により、前回公表しました業績予想に比べ 3 億 60 百万円増益の 4 億 40 百万円の当期純利益となる見込みであります。

※業績予想につきましては、本資料発表時現在において得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は状況の変化により、上記の予想数値と異なる場合があります。

以 上